



みどり

かみこあにむら
議会だより

第 157 号

発行 平成28年 4月10日
編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会
TEL 0186 (77) 2226
FAX 0186 (77) 2227



年度
式

ごにゅうえんおめでとう

元気に
新入園児の
声響く



【保育園入園式 4月4日】

3月定例会

■平成28年度当初予算	P2
■平成27年度補正予算	P5
■人事案件・陳情	P6
■審査過程における意見・要望	P7
■一般質問 4氏が登壇	P8
■議会の動き・編集後記	P12

万円 (前年度比5.3%増)
万円 (前年度比2.1%増)

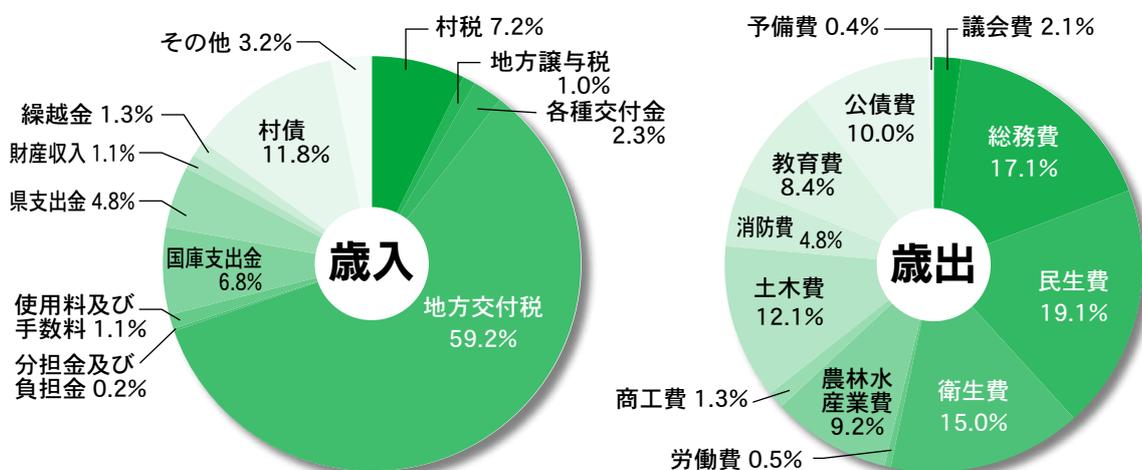


施政方針を述べる小林村長

3月定例会

3/1~11

一般会計予算の割合



各会計別予算額

会計名	予算額	前年度比	一般会計繰出金	
一般会計	23億3,886万円	5.3%	-	
特別会計	国民健康保険事業	4億5,627万円	△5.4%	3,085万円
	国民健康保険診療施設(診療所)	1億2,650万円	4.5%	5,811万円
	特別養護施設(杉風荘)	3億1,709万円	△5.6%	-
	簡易水道事業	2億5,579万円	45.1%	8,790万円
	農業集落排水事業	7,934万円	12.8%	5,092万円
	下水道事業	4,592万円	△19.2%	2,728万円
	介護保険事業	4億6,336万円	0.1%	7,836万円
	後期高齢者医療	3,823万円	△2.8%	1,571万円
	小計	17億8,252万円	2.1%	3億4,916万円
合計	41億2,137万円	3.9%		

平成28年第1回定例会は、3月1日から11日までの11日間の会期で開催しました。一般質問は4人が登壇し、除雪体制、保育園の運営体制、村長の公約など9項目について問いました。

今定例会で提出された議案のうち、上小阿仁村課設置条例の一部を改正する条例案を全会一致で否決しました。

その他、新年度予算や補正予算22件、条例改正案など21件を原案とおり可決。最終日の本会議では人事案件を含む2件が提案され、教育委員会委員として長井広子氏の任命に同意しました。

平成28年度当初予算

一般会計

23億3,886

特別会計

17億8,252

村長の施政方針

国の方針を受け、少子高齢化や人口減少の対策、村の財政状況に合った行財政改革を積極的に進めながら、事務事業、人事計画等を見直し、更なる行財政の健全化に努めたい。

この対応として、「過疎地域自立促進計画」「ひと・まち・しごと創生総合戦略」「未来づくり協働プログラム」の3つを柱に、総合的にソフト・ハードの事業計画と財政計画による事業執行により、効果が現れるよう進めていきたい。しっかりと将来を見据えて、一生懸命に努力をしている人が報われる村づくりを推進する。

村のお金どう活かす



さわやかクラブの参加者

新年度予算全会一致で可決

平成28年度一般会計予算の主な歳出は、次のとおりです。

総務費

- 秋田県町村電算システム共同事業組合負担金 3952万6千円
- 役場庁舎冷房設備工事 1743万2千円

- かみこあにアート関連事業開催委託料 726万円

4年間にわたり開催してきたKAMIKOANIプロジェクト秋田を検証しながら、秋田公立美術大学と連携して開催します。

- バス路線維持費補助金

1507万7千円
赤字のバス路線を維持するため、バス会社への補助金です。

- 台湾萬巒郷研修事業

250万7千円
(青年4人、一般4人、村職員2人を予定)

民生費

- 除雪機購入費

328万4千円
集落からの要望で、除雪機を無償で貸与します。

- 年金生活者等支援臨時福祉給付金

2085万6千円
賃金引き上げの恩恵が及びにくい所得の少ない高齢者等の方を対象に、1人3万円を支給します。

- 子宝祝金

281万円
第1子5万円、第2子以降50万円の一時金を贈呈。第3子以降には、6歳の誕生日の前月まで月額1万円を贈呈します。

- ごみ収集運搬委託料

1425万6千円



萬巒国民小学校（平成26年7月31日）

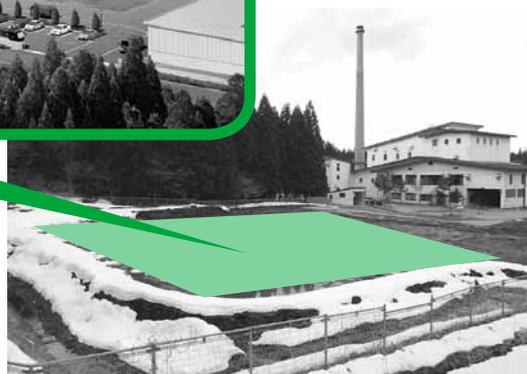
衛生費

●北秋田市クリーンリサイクルセンター建設費負担金 1億2351万円

現施設の老朽化が進み、新しく建設されますが、ごみ処理を北秋田市へ委託しているため、村の負担割合5・7%（計画処理量）分を負担するものです。



完成予想図
(平成30年4月1日使用開始の予定)



クリーンリサイクルセンター(北秋田市坊沢字大野宮後地内)

農林水産業費

●日本型直接支払交付金 1309万8千円

農業の多面的機能の維持のため、地域活動や営農活動に対して支援します。

●中山間地域等直接支払交付金 932万円

中山間地域等の条件不利地域（急傾斜地等）の耕作放棄を防止するため、集落協定に基づき支援します。

●野外生産試作センター運営費 1888万6千円

●森林認証取得委託料 401万4千円

村有林の森林認証取得に向けて業務を委託します。

土木費

●社会資本総合整備事業（道路施設点検） 650万円

道路の法面38箇所、擁壁

56箇所の総点検を行い整備計画を策定します。

●社会資本総合整備事業（村道舗装） 5000万1千円

沖田面学校線、小沢田大林線、藤沢中茂線、八木沢線の舗装を実施します。

●村道改良工事 2971万2千円

大林小田瀬線道路改良、上仏社大岱線防護柵工事、上合地線視距（※）改良工事を実施します。

※走行性の向上を図るため、視界を良くし、交通事故の防止を図る工事です。

教育費

●10人乗りワゴン車購入 397万7千円

●高校生海外研修事業 383万8千円

村内在住の高校生を対象（5名）に、海外研修（アメリカ合衆国シアトル市）を実施。ホームステイ等の体験を通して異文化にふれ、心豊かであらう青少年を育成します。

●小中学校（校長室・職員室）エアコン設置工事 346万2千円

●小中学校グラウンド改修工事 336万8千円
側溝蓋入替、3塁側フェンスを修繕します。

●教職員用パソコンシステム購入 1362万7千円

●トレーニングセンター耐震診断委託業務 249万5千円

●トレーニングセンタースロープ設置工事 581万1千円

高齢者や車椅子利用者の利便性に努めます。

一部事務組合負担金
(委託業務含む)

●常備消防(北秋田市へ委託)
9282万円

●火葬場、長下廃棄物処分場の運営負担金
606万円

●ごみ処理業務(北秋田市へ委託)
1570万円

●し尿処理施設の運営負担金
604万円



更新した4輪駆動のタンク車(購入費5,508万円)

平成27年度補正予算

平成27年度一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、財政調整基金積立金などの追加により、1744万円を追加し、予算の総額を25億2941万円にしました。
また、特別会計は総額で4197万円を減額し、総額を16億8855万円としました。
一般会計歳出の主な内容は、次のとおりです。

●地方公共団体セキュリティ強化対策事業(繰越事業)
1500万円

●財政調整基金積立金
1億58万円

●結婚新生活支援事業(繰越事業)
108万円

新規に婚姻した世帯に対し、新居の住居費、引越費用など18万円を上限に支援するものです。

●担い手確保・経営強化支援事業(繰越事業)
979万円

人・農地プランに位置づけられた意欲ある農業者が融資を活用し、農業用機械等を導入する際、融資残に対し支援を図ります。



条例議案等 機構改革案を否決

4月1日から産業課と建設課を統合し、「産業建設課」とする上小阿仁村課設置条例の一部改正案が提出され、採決した結果、賛成ゼロで否決されました。

産業課と建設課を一本化することで、効率的な事業推進と兼務の解消を目的に提案されましたが、村長の公約である「山を動かす」林業振興を図るためには「担当課長の負担が伴う」「経済を動かす建設課も重要な部署」などと、反対意見が出されました。

可決された議案は次のとおりです。

○議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

○上小阿仁村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正によるものです

○上小阿仁村行政手続条例の一部改正

○上小阿仁村情報公開条例の一部改正

○上小阿仁村個人情報保護条例の一部改正

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

○上小阿仁村行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定

行政不服審査法の施行によるものです。

○上小阿仁村過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）の策定
福館集落会長

○い樹い樹交流センターの指定管理者の指定
福館集落会長

○小沢田地区統合簡易水道建設工事請負変更契約の締結
平成27年9月1日に山二施設工業株式会社と締結した契約金額7646万4千円を7707万6360円に変更契約するものです。

○上小阿仁村野菜集出荷施設の指定管理者の指定
あきた北央農業協同組合

○杉花交流センターの指定管理者の指定
杉花集落会長

○利益のある事業に対する分担金徴収条例の一部を改正する条例
水田から畑作転換への支援等のため、元気な中山間応援事業、林道、林業専用道を対象外とするものです。

○上小阿仁村物産センターの指定管理者の指定
かみこあに観光物産株式会社

○秋田杉の館の指定管理者の指定
かみこあに観光物産株式会社

○上小阿仁村物産センターの指定管理者の指定
かみこあに観光物産株式会社

○上小阿仁村奨学資金貸与条例の一部を改正する条例
平成24年度から大学・短大専修学校の貸付額を増額したことに伴い、償還期間を延長し、若しくは選択することにより、償還月額の負担を軽減するものです。

人事案件

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。

■教育委員会委員の任命

【同意】



長井 広子 氏
(昭和46年5月19日生)

陳情 5件

3月定例会では、5件の陳情を審査しました。

採 択

●軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情
提出者 軽度外傷性脳損傷仲間会
代表 藤本久美子

●労働時間と解雇の規制強化を求める陳情
提出者 秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 泉谷みどり
秋田県労働組合総連合
議長 星野 博之

●全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情
提出者 秋田県春闘共闘懇談会

●「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情
提出者 秋田・戦争をさせない1000人委員会
県春闘共闘懇談会代表
山縣 稔

不採 択

●未来の有権者のための模擬投票所設置に関する陳情
提出者 Kids V o t i n g J a p a n
代表 寒川 友貴

常任委員会付託議案

高校生の
海外研修

安全性と継続性確保のため

慎重な対応を

総務産業常任委員会に付託された議案について、3月2日から8日間審査しました。

予算審査にあたっては、質疑された意見・要望をとりまとめ、当局に対して文書で回答を求めました。その内容は、次のとおりです。

当初予算関係

過疎地域自立促進計画

意見 11月の議員全員協議会において、同計画案が提出されたが、具体的な事

業内容、変更等については、事前に議員全員協議会を開催して説明すべき。

回答 今後、そのように対応したい。計画に変更が生じた場合は、その都度、議会に相談してまいります。

診療所の運営と予算

意見 医療収入が年々減少しており、今後の経営が心配である。医師の協力を得ながら患者数の増加に努め、訪問診療なども取り組んでもらいたい。なお、予算については説明不足と積算根拠が明確でないものがあり、現状を把握したうえで正確な数値を計上してもらいた

い。また、補助金については、確実に交付されるよう取り計らうべきである。

回答 在宅の要介護者については、必要に応じて往診を行うよう努力してまいりたい。予算については、ご指摘のとおり、出来るだけ丁寧に対応させていただきたい。補助金は確実に交付されるよう、今後、対応します。

職員研修

意見 過去には、ごく少数の職員だけの参加となつている。村施策の執行にあたって、職場の意思疎通、意思統一、スキルアップをさらに図るべく、庁内外研修に参加できる環境づくりを構築すべきである。

回答 そのように取り組んでまいります。

かみこあにアート関連 事業開催委託料

意見 財源不足を理由に休止する方針であったにもかかわらず、過疎対策事業債700万円以上が計上され

ている。規模を縮小し、継続する方針を示しているが、もつと内容を検証して、財源を精査したうえで、計画的な説明を行うべき。特に、実行委員の選任についても早急に検討するべきである。

森林認証取得

意見 認証取得が重要視されるようだが、慎重に申請にあたるべき。担当者においては各種研修や国・県の指導を仰ぎながら進めてもらいたい。認証認定を受けただけではメリットがある訳ではなく、成功している先進地等の情報も収集するなど、森林の流通・販路に努めるべきである。

回答 職員のスキルアップを図り、情報収集に努め、流通販路拡大を図ります。

高校生の海外研修

意見 成功している自治体等の事例を参考にしながら、子供たちの安全性と継続性を持たせるために、受入団

体は国際的に確立された団体を選定し、慎重に進めるべきである。

回答 慎重に対応させていただきます。

上小阿仁村婦人会補助金ほか 各種団体に対する補助金

意見 婦人会・文化財保護団体等・村内の各種団体に対する補助金が何年も同じ額であり、活動内容に合わせて見直すべきである。

回答 検討してまいります。

補正予算関係

杉風荘の運営

意見 これまで再三にわたる、サービス収入について指摘しているが、一向に改善が見られない。民営化の方向性についても何ら進んでおらず、早急に検討委員会等を設置して邁進すべきである。

回答 医療連絡調整会議において対応を検討。4月中旬にプロジェクトチームを立ち上げ進めてまいります。



本会議最終日の委員長報告

質問

降雪状況に応じた出動判断を

村長

道路事情を考慮し

臨機応変に対応したい



【北林義高議員】

わりの時間も遅くなるのであれば、路線全部をやらなくとも重要な所だけで除雪するなどの方法があると思う。

また、これから排雪に入るが、業者の方は出動時間も少なく、収入が減少して大変だと思うので、除排雪時の活用に対し、配慮が必要ではないか。

雪となっている。特に、湿った雪の日が多く、降り始めても2〜3時間程度で止んだり、朝方に急に雪が降り積り、通行等が困難になるなど、例年にない状況下での除雪となった。

朝方の降雪については、緊急的に対応として、朝6時の時点で役場前の積雪計が10センチメートルを超えた場合、午前7時から直営によ

北林議員 今年の冬は暖冬の影響で私たちは雪も少なく除雪の回数も少なく大変な冬となった。

除雪の状況を見ると降雪時間にもよると思うが、除雪車の出動があったのからならない状態になっている。出動判断も大変だと思うが、降りそうな時は1回だけでなく2回、3回と見て判断をすることが大事ではないか。遅く出動することで終

本村の、これまでの最大積雪量は1月26日の40センチメートルを記録した以後、降雪等により20センチメートル前後で推移しており、近年にない暖冬の中での除

雪となっている。特に、湿った雪の日が多く、降り始めても2〜3時間程度で止んだり、朝方に急に雪が降り積り、通行等が困難になるなど、例年にない状況下での除雪となった。



役場前の記念碑(横)に設置されている積雪計 (10 cmが出動の目安)

り小中学校、診療所、保育園を1時間程度で緊急除雪をすることとし、その後の状況により歩道除雪をすることになっている。

また、1月には降雨等により轍がひどくなったため、1月2日、1月19日の午後7時に一斉出動を出しており、道路事情等を考慮しながら臨機応変に除排雪を進めてまいりたい。

除雪の一斉出動回数

年度	12月	1月	2月	3月	計
27	1回	11回	8回	1回	21回
26	12回	13回	6回	1回	32回
25	6回	16回	8回	2回	32回
24	8回	17回	11回	1回	37回
23	10回	14回	8回	1回	33回

質問

集住型宿泊交流拠点施設は 本当に必要か

村長

定住先の候補となるような

施設にしたい



【大城戸ツヤ子議員】

職員の人材育成について

大城戸議員

副村長は就任当時「職員が仕事しやすい環境づくりを目指す」ということであつたが、その方向性とは。

副村長

私が就任当時、職員が気持ち良く仕事が出来るように見守って行きたいと考えてお話しさせていだいた。今年度は若い職員が自ら企画し研修を実施しており、新年度についても

更に多くの職員が研修できるようにバックアップしていきたい。

集住型宿泊交流拠点

施設の必要性は？

大城戸議員

議会活動報告

を目的に1月から2月にかけて各集落を廻り、住民の生の声や切実な思いを聞き、住民の代表として議会に届ける責任を痛感した。村では行政懇談会を実施したが、住民の要望や意見とは何か。

村長

集落での行政懇談

会では、プロジェクトの目的達成のための3つの柱、①多様な世代の人々が集い交流する拠点づくり。②高齢者の見守り・支え合い体制の充実強化。③里山を活用した交流人口の拡大など、それぞれ説明した。集

落の意見として「既存の施設を改修して利用できないか」「財源について説明してほしい」「利用計画はどうなっているのか」などであつた。人口減少の課題克服に向け、県と一緒に取り組んできたこの施設を拠点に、若い人に村に来ていただき、交流してもらい、定住先の候補として考えてもらえるきっかけの施設にしたい。

かみこあに保育園の

運営について

大城戸議員

村の将来を託す大事な子ども達を預かる保育園は正職員の2倍以上が臨時職員である。資格を持ち保育業務を行っているがこのままでもいいのか。村長は年頭の訓示、施政方針で「一生懸命努力する人が

報われる村政に」と提唱しているが、努力している人が報われるとは一体どんなことを指すのか。

村長

保育園の運営については、今後プロジェクトチームを立ち上げ、杉風荘の民営化と併せて検討していきたい。

また、努力している人が報われるとは、村職員だけでなく、村民も含めて一生懸命努力する人が、楽しく生活できる村政を目指すということである。

地域活性化応援隊の

役割とは

大城戸議員

村では2009

年10月に2人の地域おこし協力隊を採用し、地域の支えとなり、米づくりや八木沢番楽の復活など、目を見張るものがあつた。そして

今日まで、地域活性化応援隊として村の人たちに元気を与えてくれているが、活動にも限界はある。現在総務課に席を置き、行政の一職員になったような気がするが、地域活性化応援隊に期待するのは何か。

村長

人口減少や高齢化等の著しい地域において、地域力の維持、強化を図るため地域おこし協力隊活動、経験者を積極的に活用し、各種の地域活動に協力してもらうことが地域活性化応援隊の役割である。八木沢集落の支援が主とした活動であつたが、他の集落の支援や地域活動も行ってみたいという要望があり、役場庁舎内の総務課が勤務先となつている。KAMIKO ANIプロジェクトや武蔵野大学と連携した学生の行き来が始まったことにより、仕事の内容も地域に人を呼び込む活動へと変化してきている。村に住んだ経験を生かして移住定住アドバイザー的な役割もお願いできると考えている。



地方移住、定住セミナーで村をPRする水原さん
(2月26日・武蔵野大学有明キャンパス)

質問

施政方針の具体性について問う

村長



【伊藤敏夫議員】

少子高齢化に対応した 住み良い村づくりの実現

した新たな経済活動の発展性を検討している。

④農家にとつて、足りない部分については、村でその対策を講じる必要がある。

⑤商工業については、6次産業化を含め、事業拡大をする人、起業する人達を支援しながら村内商品が流通するシステムを構築する。

⑥少子化については、若い人に居住していただき、結婚をし、子どもを育てていくことなので、子育て世代の若い人達の環境整備を支援する施策を盛り込み、事業実施することで、村の将来を明るくしていきたい。

⑦一生懸命に努力している人が、報われる村政にするために職員一同一致団結して、村づくりを推進する。

①から⑦について具体的な

説明を。

村長

村長

①過疎計画の事務事業、人事計画等、5力年の財政計画に基づいて健全化を進めていく。

②秋田県の高齢化率は全国で一番高く、秋田県の中でも上小阿仁村の高齢化率が一番高くなっており、高齢化率においては、全国でも先進地になっている。

今後、過疎地域自立促進計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、未来づくり協働プログラムの計画に基づき、各種施策を実施することにより、少子化・高齢化に対応し、住みよい上小阿仁村の実現を目指していきたい。

③未来づくり協働プロジェクトの3つの柱、「多様な世代の人々が集い交流する拠

点づくり」「高齢者の見守り・支え合い体制の充実強化」「里山を活用した交流人口の拡大」。これらの実施を計画している。

④認定農業者等の意欲を高めるため、受益者負担の軽減や、実施規模等が採択要件に満たない場合等が十分に考えられることから、各種施策を実施する場合に、その都度農家支援策を講じた

い。また、移住定住を視野にハウス等の施設園芸支援策も検討していきたい。

⑤農林産物の生産から加工販売に向けた六次産業化に取組まれる方については、元気な中山間農業応援事業で支援したいと考えている。

⑥村の子育て支援としては、子宝祝金の贈呈や乳幼児から中学生までの医療費の無料化、保育料の半額助成、延長保育や一時保育の実施、小学生を対象とした放課後児童クラブの運営、さらには、妊婦健診や乳幼児健診



平成27年度における放課後児童クラブの登録者数45名

費用の全額補助、インフルエンザ予防接種への定額補助、奨学資金返還金の一部助成制度、また、乳幼児の交流と育児相談等を目的とした「ひよこの会」や「離乳食講習会」など、多くの子育て支援を実施している。

しかし、若者の村外流出を防ぎ、若者が村に居住するためには、働く場の確保と子育て支援の充実、住居の確保等、総合的な対策が必要と考えている。

⑦努力している人が報われるとは、一生懸命努力する人が、楽しく生活できる村政を目指すということである。これに向かって職員も尚一層の努力をするということである

伊藤議員 村長の施政方針については、今後検討して実行推進していくものと考えられるが、漠然として理解できない。

①事務事業、人事計画等を見直し、更なる行財政の健全化に努める。

②村は少子高齢化率では先進地となっており、村の施策が成功すれば日本が救われる。

③集住型宿泊交流拠点施設を整備し老人、若者、子どもとの交流と森林資源を活用

定例会の年間計画

平成28年6月定例会	6月14日(火)～16日(木)	休会を除く会期3日間
平成28年9月定例会	9月1日(木)～13日(火)	休会を除く会期9日間
平成28年12月定例会	12月13日(火)～15日(木)	休会を除く会期3日間
平成29年3月定例会	3月2日(木)～14日(火)	休会を除く会期9日間

※会期日数は、当局からの提出議案数などをもとに議会運営委員会で協議し、本会議に諮って決定します。村の行事等によって変更される場合もあります。



第1回議員全員協議会
●平成28年11月28日

議会の動き

集住型宿泊交流拠点施設 基本設計を提示

県と協働で進める未来づくり協働プログラムを進めている集住型宿泊交流拠点施設(仮称)の基本設計が示され、事業の目的や概要について協議しました。

空き家利活用推進事業 対象物件なし

村民が生き生きと暮らせる地域コミュニティの維持・強化を図るため、施設の整備と合わせ、いかに若者を呼び込むかというソフト面の充実について意見が交わされました。

飲酒運転追放競争 全県1位



飲酒運転追放等競争において、県内25市町村中、八郎瀧町、大瀧村とともに全県1位に輝きました。交通安全母の会や交通指導隊など約20人が出席し、北秋田地域振興局長より表彰されました。

交流人口の増加や移住・定住促進対策として、県の空き家利活用推進事業(1戸あたり400万円限度)を予定していましたが、広報等で公募したところ提供者がいなかったため、減額したい

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は6月14日開会予定です。3月定例会本会議の傍聴者は21人でした。

どなたでも傍聴することができます。



との説明がありました。新年度も引き続き公募することにしております。

編集後記

平成28年度の予算等にわたって、活発な審議が行われ、多数の議案審議の中で思ったことは、質疑に對する当局説明の対応が軽率であることや、議会に諮っていないものまで言葉に出してしまう慎重性の欠如であります。先般、保育園も含めた民営化について新聞報道され、村民の多くの方から問い合わせがありました。杉風荘の民営化について審議の際、そのようには意味合いで話したものでない、という村長の考えでありました。いいよ、新年度予算に基づき、村の実施すべき施策が打ち出されますが、村民の付託に応えられないよう、議員として是非々々で取り組んでまいります。

(伊藤(敏) 記)

議会広報編集委員会

委員長 北林 義高
副委員長 大城戸ツヤ子
委員 伊藤 秀明
" " 伊藤 敏夫
" " 武石 辰久